



安全・安心な
まちづくり

03

防 災

災害に強く 暮らせるまち 安心して



雪下り時の転落事故防止のため、命綱固定アンカー設置やフルハーネス購入の補助も行っています。



「集落安心づくり事業」で取り組まれる。市民による高齢者世帯宅の除雪作業の様子。市はこのような地域での共助の体制づくりを推進するため、「高齢化集落等対策基金」も創設しました。

同報系防災行政無線システム

同時複数通信に対応したデジタル式のシステムで、4年をかけ2021年9月に完成しました。屋外スピーカー（市内89か所に設置）のほか、各家庭や事業所には戸別受信機も配備され、緊急時はもちろん、平常時においても市民と行政をつなぐ情報伝達手段として、活用されています。



屋外スピーカー



戸別受信機

豪雪などの自然災害や原子力災害から、市民の生命と財産を守る体制づくりを進めます。あわせて、市民の自助や共助の理念を醸成し、地域防災力の向上に取り組みます。

interview

防災対策の推進

「自助」、「共助」、「公助」の融合で災害に強いまちへ

下条地区連合自主防災会会長

上村 栄市 さん

中越地震で、いざというときの隣近所での助け合いが大切ということを知り、2009年に下条地区連合自主防災会を設立しました。そして、市からの支援も受け、独自に発電機など防災用品を揃えました。現在は避難所の開設を想定した訓練にも取り組んでいます。

防災行政無線の整備で、いざというときの情報伝達が強化され、とても心強く感じます。「自分たちの地域は自分たちで守る」という「自助」と「共助」に、行政からの支援の「公助」を合わせて、市民の立場からも災害に強いまちづくりを進めていきます。



推进构建暴雪等自然灾害以及核污染灾害的市民生命财产的保护体制。同时，养成市民的自助及互助理念，大力提高地区的防灾能力。

We are aiming to create systems to protect the lives and property of citizens from natural disasters such as heavy snowfall and nuclear disasters. We will encourage the idea of self-help and mutual assistance for residents, as well as improve the capabilities for regional disaster prevention.